

八海山山行報告

【山行日】2022年 9月 25(日) 晴れ

【集 合】岩舟支所 P AM 6:00

【費 用】マイカー1台 : 4900円

【メンバー】CL:鈴木ユ、 SL:廣瀬

石澤、嶋田、鈴木ミ、福島、吉田

【コースタイム】岩舟支所 P6:00=八海山RW

山麓駅 P7:50/8:20+++山頂駅 8:27/8:35~

女人堂 9:45~千本檜小屋 10:35/10:45~

大日岳 12:10~鞍部 12:30/13:00~千本檜小

屋 13:50/14:00~女人堂 14:35/14:00~

展望台 14:40/14:50~山頂駅 14:55/16:00+++八海山RW山麓駅 16:10/1:25=岩舟支所P18:55

山行アンケートで八海山に登りたいとリクエストがあり、ハツ峰コースを登る計画を立てた。



10名の参加申し込みがあったが、キャンセルがあり最終的には7名での山行となり、CLとしては気持ちが楽になった。岩舟支所を6時に出発し、北関東道から関越道を進み六日町ICで降り八海山RW山麓駅Pに車を止める。出発の準備をしてRWのチケットを購入したが、K澤さんが割引券を事前にゲットしてくれたお蔭で往復で400円安く買った。登山計画書を提出し、全員検温してRWに乗り込む。

10分足らずで山頂駅に着き、ストレッチを行ってから赤い鳥居をくぐって丸太の階段を登って行く。

八海山遥拝所がある尾根に出て、神像などが立ち並ぶ前を通り、ゆるやかな尾根に行く。すぐに4合目になり、平坦な道から下りになると前方に薬師岳が見えてくる。やがて4合半を過ぎると、左から大倉からの登山道が合流する。池ノ峰を越え漕池を右に分



け、その先から急な登りとなり、登り切ると女人堂が建つ6合目に出る。かつては、女性はこの先への登山を禁じられ、ここで八海山を遥拝した場所だという。避難小屋にはトイレがあり、協力金を入れて利用させてもらう。

ナシや菓子を食べエネルギーを補給し、水分を補給したら山頂に向かって出発する。

女人堂から少し下り祓川という沢を渡ると、薬師岳への登りとなる。ハシゴやクサリが付けられた岩



場を登り、10分程頑張ると薬師岳である。猿田彦命の銅像など沢山の仏像が並び、見渡せば越後駒ヶ岳や中ノ岳、これから向かう千本檜小屋の奥にハッ峰の岩峰がそびえている。薬師岳からいったん下り、ほんの少し登り返すと千本檜小屋に着く。大休止して菓子やゼリーをいただき、エネルギーを補給してハッ峰の縦走に備える。

ここから少し行くと右に迂回コースを分けて、左にクサリが付く岩を登るとハッ峰の登下降が始まる。



岩稜に出て左に行くと地藏岳で、狭い山頂には石祠が並び360度の大パノラマが広がる。ここから一旦鞍部まで戻り登り返すと不動岳に出て、ここから急峻な岩稜をクサリやハシゴで登下降を繰り返して登って行く。大日岳まで八つの岩峰を、20を超え



るクサリで越えて行く。不動岳から下りのクサリ場は垂直で長く、皆さん苦勞して慎重に下っていた。段々慣れて来て5つ目の釈迦ヶ岳を下り、「鞍部からエスケープルートがあるので、怖ければここから戻れるよ」と言う。「この先も行きたいです」との返事。この先さらに急峻な

岩場が連続するが、スリルを楽しみながらハシゴやクサリで越えて行く。ハッ峰最高峰の大日岳に着き、小休止して越後駒ヶ岳から中ノ岳の大パノラマを楽しんだ。大日岳から長く垂直のクサリ場を下ればハッ峰は終了し、その先の草地まで行きランチタイムとする。

お湯を沸かしてカップ麺やスープを作り、おにぎりやパンを美味しくいただいた。雲海の中に越後駒ヶ岳と中ノ岳の堂々とした山容が浮かび、この景色を見ながら食べられるなんて最高だねとご満悦。ランチが済んだら下山開始するが、迂回路がハンパ無く険しい道である。



来た道を少し戻ると迂回路への分岐となり、左に急坂を降りて行く。急坂にハシゴが10個くらい連



続して付けられ、下り切ると新開道への分岐があり、右の迂回路を進む。ハツ峰の岩峰の基部を巻くように付けられた道で、左側が切れ落ちた崖で気を抜けない。クサリを頼りに慎重に進み、不動岳への登りを右に分けると千本檜小屋に着く。皆さん登り切った達成感に満ち溢れた笑顔で、美味しそうに冷たいナシを食べていた。トイレを済ませたら下山開始し、往路をRW山頂駅まで戻る。4合目を過ぎ遥拝所の前を直進し、展望台に登って最後の休憩を取

る。残ったおやつを全部出し、展望台から登って来た薬師岳やハツ峰を眺めながらいただいた。RWで山麓駅まで下り、靴を履き替えたら車に乗って帰路につく。

関越道の赤城高原SAで買い物とトイレを済ませ、無事に岩舟支所に帰着した。

